

**対馬暖流の流量は少なめで、流路は岸寄りとなっています。**  
**表層水温は、気温の影響で**  
**8月上旬には全域で平年よりも高めになっています。**

2019年8月に実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

津軽海峡～石狩沖での対馬暖流の北上流量は0.8～1.5Sv (1Sv=10<sup>6</sup>m<sup>3</sup>/s) 程度と例年より少なめです (図1c)。流路は流量が少ないためか岸寄りの流路となっています。そのため、沿岸部では50m以深の水温が平年よりも高く、逆に沖合では平年よりも低めの水温となっています (海況速報本文を参照)。

表層水温は、石狩湾を中心に平年より2°C以上高めです (図1a, b)。これは7月末から8月頭にかけて、非常に気温が高かった事が影響していると考えられます (※1)。一方で岩内以南は、ほぼ平年並みの水温ですが、これは岩内以南の観測が、気温が上がる前の7月下旬に行われたためだと考えられます。衛星水温などによれば、8月上旬には日本海の全域で、表層水温が平年よりも高くなっています (※2)。余市前浜水温は、6月中旬の「やや高い」から6月下旬には「平年並み」まで低下しましたが、7月以降に再度上昇し、8月上旬には「かなり高い」水温になっています。

※1 気象庁HP : <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/>

※2 参考 : <https://oceancolor.gsfc.nasa.gov/cgi/l3> など

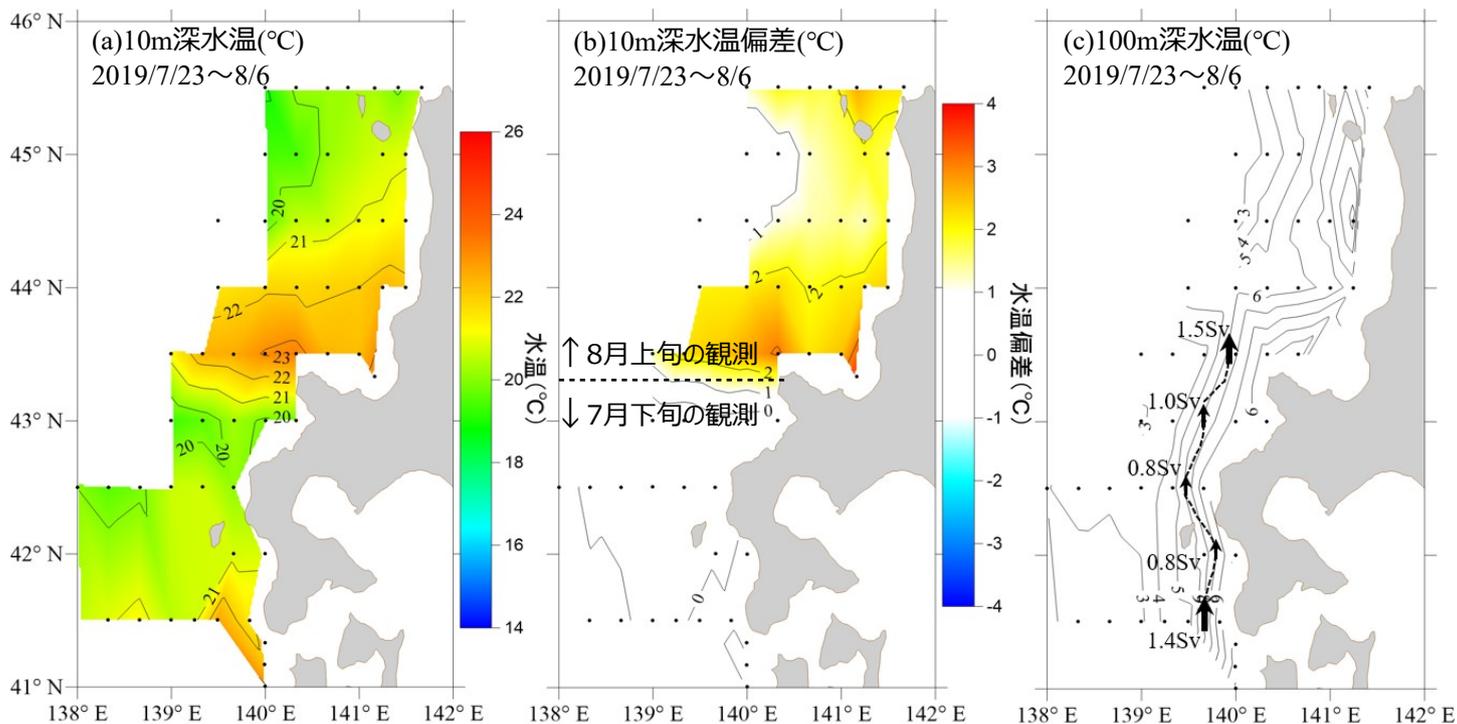


図1 2019年8月における (a) 10m層水温、(b) 10m層水温偏差 (30年平均値 (1989～2018年) からの差) の分布、(c) 100m層水温分布と対馬暖流の流路 (500db基準の地衡流より) (1Sv=10<sup>6</sup>m<sup>3</sup>/s)

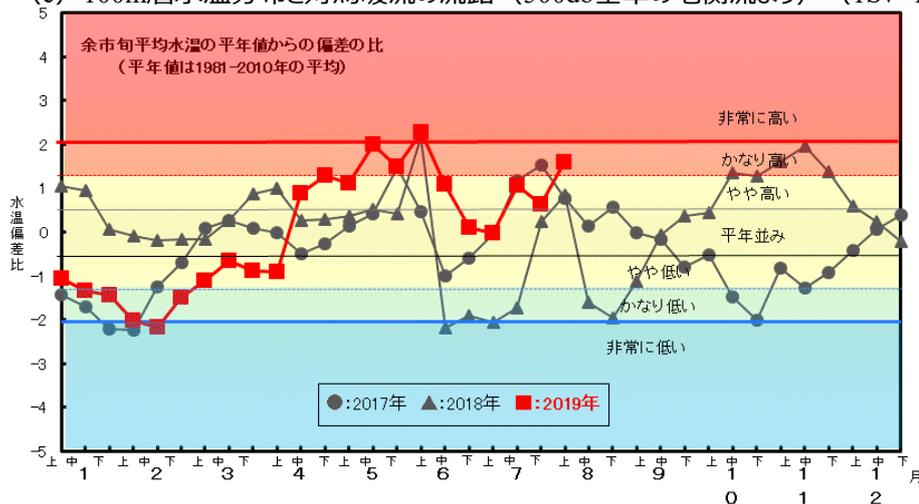


図2 余市前浜旬別水温の平年偏差比

最新版は  
<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyuu/suion/index.html>  
もしくは「余市前浜水温」で検索